

平成25年度識字合同学習会（第12回ふれあい広場）報告書

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 日時及び会場 | 平成25年12月14日（火）13:30～16:00 広陵中央公民館 かぐや姫ホール |
| 2 | 参加者 | 市町村識字学級生、市町村識字学級指導者、中学校夜間学級生、中学校夜間学級教員、市町村職員、県職員、学校教職員、社会教育関係団体指導者、県民等 計 248名 |
| 3 | 日 程 | 13:30～13:45 オープニング
13:50～13:55 開会あいさつ
13:55～14:20 識字学級等の取組紹介
14:20～14:45 識字学級生等による作文発表
14:45～15:05 展示作品の鑑賞
14:05～15:55 朗読劇
15:55～16:00 閉会あいさつ |



4 内 容

(1) 舞台発表

○ オープニング

広陵町立広陵中学校吹奏楽部生徒による演奏が華やかに行われ、最後は、生徒の呼びかけにより、「ふるさと」を会場全体で合唱し、和やかな雰囲気でのオープニングとなった。

○ 識字学級等の取組紹介（プレゼンテーション）

大和郡山市新町識字学級、大和郡山市西田中町識字学級、大淀町立桜ヶ丘識字学級、奈良市立春日中学校夜間学級、天理市立北中学校夜間学級から、日頃の活動の様子が紹介された。今年度は、初めての試みとして、識字学級生がナレーションを担当し、一文字一文字を丁寧に読むことにより、熱心に学習されている様子や識字に寄せる思いがより強く伝わる内容となった。

○ 識字学級生等による作文発表

大和郡山市新町識字学級生と天理市立北中学校夜間学級生が、それぞれ「差別って何ですか?」「待ちこがれた学校」と題して、自分の思いを綴った作文を発表した。識字活動は、重要な人権課題であり、文字を識ることや学習するということは、単に文字の読み書きを勉強するだけでなく、人の生き方を変える力をもつ活動であることを確かめ合った。

○ 朗読劇（朗読劇団「泉座」）

人の優しさや勇気、心のふれあいが、詩や小説、落語等の作品を通して豊かな表現で語られ、言葉や文字のもつ力の大きさ、表現することの大切さや素晴らしさを共有することができた。



[オープニング演奏]



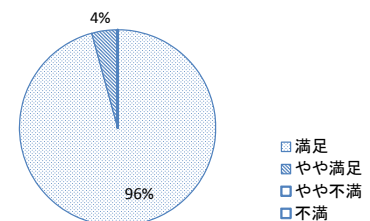
[作文発表]



[朗読劇]

(2) 作品展示

会場ロビーに、学級生の様々な作品を展示し、各識字学級等の豊かな取組や学級生の努力、学習の成果等を伝え合う場となった。



4 参加者の感想

- 各識字学級の作品は、どれをとってもすばらしい作品ばかりで、楽しく鑑賞させていただきました。また来年も楽しみにしています。作文発表は、胸にくるものがあり感動しました。最後の朗読も笑いあり涙ありで感動しました。
- 学級生の作品の展示、皆様の熱心な取組、吹奏楽部の演奏、日々頑張っておられる姿が目につかびました。朗読劇を見ているうちに、ひきこまれそうな気持ちになりました。語り方によって、あんなにも美しく表現できるのだなあと思いました。